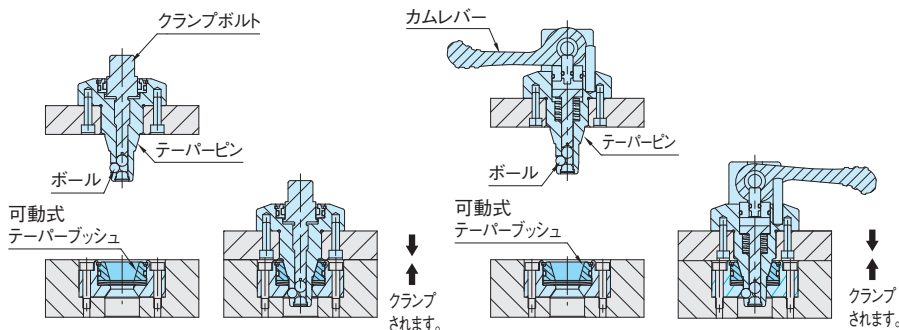


特長



- ・テーパーパー部のはめ合いにより位置決めを行います。
- ・クランプボルト又はカムレバーを締めることでボールが外側に押し出され、可動式テーパープッシュが沈み込み、プレート面が密着します。
- ・クランプボルトは約2回転でクランプ完了します。

※ストレートピンとストレートプッシュを使用する場合、位置決め機能がありません。

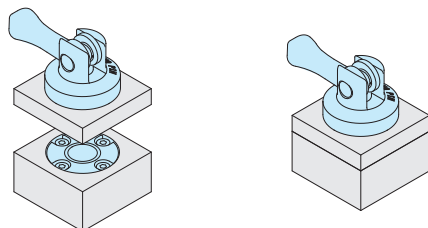
操作手順



①ボールがシャフト内に引込んで
いることを確認します。

②挿入します。

③挿入後クランプボルトを締めて
クランプしてください。許容締付
トルクの範囲内でご使用ください。
※アンクランプは、逆の手順で行っ
てください。

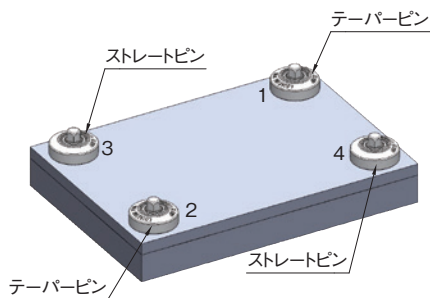


①カムレバーがアンクランプ位置
にあることを確認します。

②挿入します。

③カムレバーを倒して、クランプ
してください。
※アンクランプは、逆の手順で
行ってください。

締付け手順



CP730

- ①プレート同士が密着していることを確認します。(※)
- ②1→2→3→4の順番で仮締めを行います。
仮締めの締付けトルクは、本締めの約50%を目安としてください。

- ③1→2→3→4の順番で本締めを行います。
※テーバーブッシュの持上力により、サブプレートが持ち上げられている場合があります。この場合は1→2→3→4の順番で軽く締付け、プレート同士が密着した状態から仮締めを行ってください。持上力はCP735テーバーブッシュの寸法表をご覧ください。(P.1950 参照)

CP731

- ・1→2→3→4の順番にレバーをクランプ位置まで倒し、クランプします。

締付け順が異なると、繰返し位置決め精度8μmを超える場合があります。

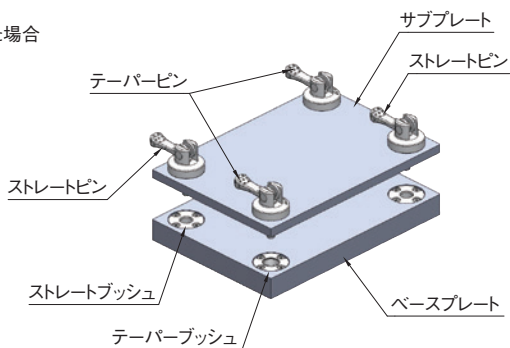
使用例・使用方法

■サブプレートの水平取付け

テーバーピン2本とストレートピン2本を使用した場合

テーバーピンにはテーバーブッシュ、ストレートピンにはストレートブッシュを組合わせてご使用ください。

※テーバーピン・ストレートピンのレバーを持ってのサブプレート取付け取外しは行わないでください。

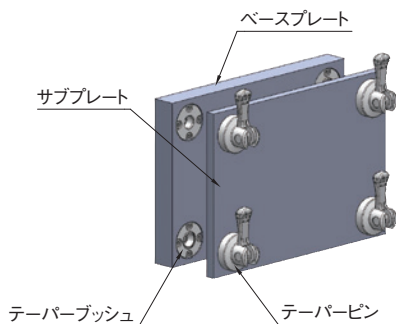


■サブプレートの垂直取付け

垂直取付け時、繰返し位置決め精度10μm。

| サイズ | | 最大積載重量 (kg) |
|-------|------|-------------|
| CP730 | 0939 | 40 |
| | 1246 | 60 |
| CP735 | 1656 | 100 |

| サイズ | | 最大積載重量 (kg) |
|-------|------|-------------|
| CP731 | 0939 | 25 |
| | 1246 | 40 |
| CP735 | 1656 | 60 |



※最大積載重量とは、サブプレート、治具、ワークの合計重量です。

※最大積載重量は、テーバーピン、テーバーブッシュを各2個使用した時の値です。